事業評価票

101	駐車誘導システムの撤去 （警視庁交通部／一般会計）	事業開始	平成 5 年度
		事業終了予定	平成 24 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何を目指すのか

○　駐車誘導システムは、駐車場の位置、満空情報、経路等の情報をドライバーに提供し、車両を空き駐車場に誘導することにより、路上駐車等を起因とする交通渋滞を防止し、安全で円滑な道路交通を確保するために運用を開始した。

根拠法令等	道路交通法

2 どのように取り組み、どのような成果があったか

○　平成５年度から新宿地区において運用を開始し、周辺地域の路上駐車の減少、旅行速度の向上、駐車場探しの車両や入庫待ちの車両に起因する交通障害の防止といった成果があった。

3 どのような課題や問題点があったか

○　運用開始から18年が経過し、機器の老朽化による更新時期を迎えている。更新に当たって検討した結果、当時の部品がなく全て新しい物に替えなければならないことが判明した。

○　平成５年のシステム導入当時に比べ、現在は公益財団法人東京都道路整備保全公社が運営する駐車場案内サイト（約4,000駐車場を提供）が供用されるなど、民間等の取組も進んでいる。

4 局として、事業をどうしていきたいか

拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他

○　現在、駐車誘導システムに参加している31駐車場は、平成24年４月末までに公益財団法人東京都道路整備保全公社の駐車場案内サイトを通じて満空情報の提供等を行うこととなったため、駐車誘導システムを撤去し、運用を終了する。

歳入	22年度決算額	― 千円	歳出	22年度決算額	51,276 千円
	23年度予算額	― 千円		23年度予算額	60,395 千円
	24年度見積額	― 千円		24年度見積額	96,810 千円

【財務局評価】

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか

○　民間等の駐車場案内システムに役割を移行させ、警視庁が実施する駐車誘導システムの運用を終了することは妥当と考える。
　機器の撤去により、回線使用料等のランニングコストが不要となる。

6 24年度予算で、どのように対応したか

拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他

○　局案どおり予算を計上する。

歳入	24年度予算額	― 千円
歳出	24年度予算額	96,810 千円